

経済・金融 フラッシュ

米7月ISM指数：製造業指数が 続落も、非製造業は上昇

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米景気に減速の見方が広がる中、7月ISM指数は、製造業PMIが前月比▲0.7ポイント(55.5)と低下した半面、非製造業NMIでは同0.5ポイント(54.3)と上昇した。

非製造業指数の上昇に加え、低下を見せた製造業の内訳でも、上昇した指数の数が過半を占めるなど下げ渋りの動きが窺われるなど、ギリシャ危機からの立ち直りの動きが窺われる。

特に、製造業、非製造業ともに、主要な構成指数である雇用指数が上昇を見せており、これまで景気回復の最大の障害ともなっている雇用動向(今週金曜発表予定)への影響が注目される。

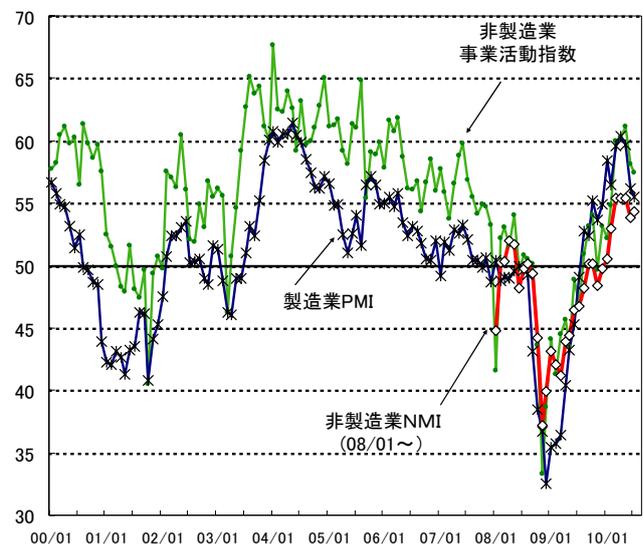
1、製造業指数は3ヵ月連続の低下も、非製造業指数は予想外の上昇に

企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、7月製造業指数(PMI)が55.5と3ヵ月連続の低下、昨年12月(54.9)以来の低水準となったが、市場予想(54.5)は上回った。

指数の水準自体は依然堅調水準に留まっており、発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は42.0であり、7月PMIは実質GDPの年率4.5%に対応する水準としている。なお、PMIは、金融危機後の2008年12月に32.5と近年の最低水準を記録した後、昨年8月には製造業の拡大・縮小の分かれ目となる50を回復、今回で50越えは12ヵ月連続となる。

また、7月の個別指数の動きを見ると、下落した指数は4指数に留まり6指数が上昇した。6月に在庫関連の2指数を除きほとんどの指数が下落した状況とは異なっており、全般的に落ち着いた動きとなっている。PMIの下げ幅も▲0.7ポイントと6月の▲3.5%ポイントから縮小するなど下げ渋りの動きとも受け取れる。

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

一方、7月非製造業指数（NMI：注）は54.3と前月（53.8）、市場予想（53.0）をともに上回った。また、7ヵ月連続で非製造業の業況の分かれ目となる50を上回った。なお、NMIは金融危機直後の2008年11月に37.2へと急低下、その後本年3月には55.4まで回復し、この水準がピークとなっている。

ISM両指数（PMIとNMI）の比較では、金融危機後の落ち込みはPMIが大きかったものの、昨年7月以降は12ヵ月連続でPMIが上回るなど、個人消費の抑制や住宅バブル崩壊、金融危機等の影響が大きいサービス業、金融、不動産・建設等で構成された非製造業に対し、製造業の回復が先行する形が続いている。しかし、5月のギリシャ危機以来、PMIの低下が大きかったこともあって両指数が接近、特に、NMI発表までは非製造業を代表していた事業活動指数は7月57.4と3ヵ月連続でPMIを上回るなど製造業との出遅れ感は縮小している。（注：NMI(=Non-Manufacturing Index)は、2008年1月より非製造業指数の総合指数として発表開始。事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延の各指数の均等ウェイトで構成される。）

（各指数別内訳の動向）

2、製造業では、6指数が上昇～雇用指数が58.6と全指数の最高値に

7月の個別指数の動きを見ると、4指数が下落、6指数が上昇するなど上昇した指数が上回った。しかし、PMIの主要構成指数である新規受注が▲5.0ポイント（6月は▲7.2ポイント）、生産指数が▲4.4ポイント（6月は▲5.2ポイント）と連月で大幅な低下を見せ、PMIを押し下げた。

PMIを構成する他の3指数（雇用、入荷遅延、在庫）はいずれも増加し、特に、在庫指数は50.2と前月比4.4%ポイントの上昇、4ヵ月ぶりに50台を回復した。

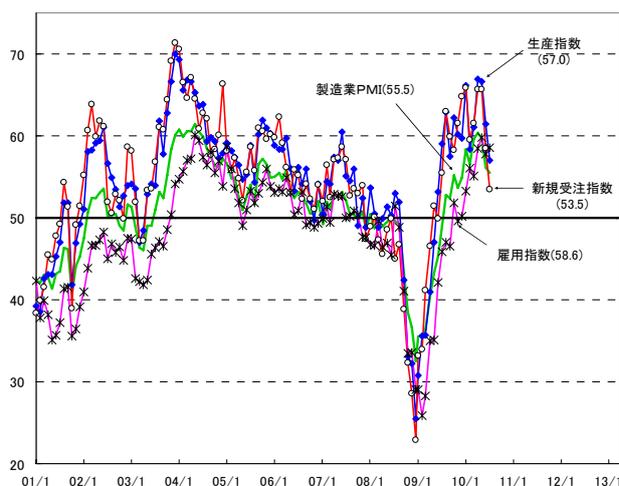
また、雇用指数が0.8ポイント上昇して58.6となった。2004年5月（60.1）以来の高水準だった5月（59.8）には及ばなかったものの、7月の製造業の各指数中では最高値となっており、今後の雇用動向が注目される。なお、入荷遅延も1.0ポイントの上昇、58.3と雇用指数に次ぐ水準となっている。

上記の5指数以外の指数では、輸入指数が▲4.0ポイント低下（56.5→52.5）、受注残指数が▲2.5ポイント低下（57.0→54.5）となったが、これ以外の指数はすべて上昇した。なお、価格指数は6月の大幅な下落（▲20.5ポイント）のあと、小幅の上昇（57.0→57.5）となった。

3、非製造業各指数では、雇用指数を含む3指数が上昇、5指数が下落

7月非製造業各指数の動きを見ると、総合指数（NMI）を構成する主要4指数（事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延）では、新規受注指数が2.3ポイント、雇用指数が1.2ポイントと上昇、

（図表2）ISM製造業主要指数の推移（月別）



注：（ ）内の数値は2010年7月値

事業活動指数が▲0.7ポイント、入荷遅延指数が▲1.0ポイント低下するなど、まちまちの動きとなった。

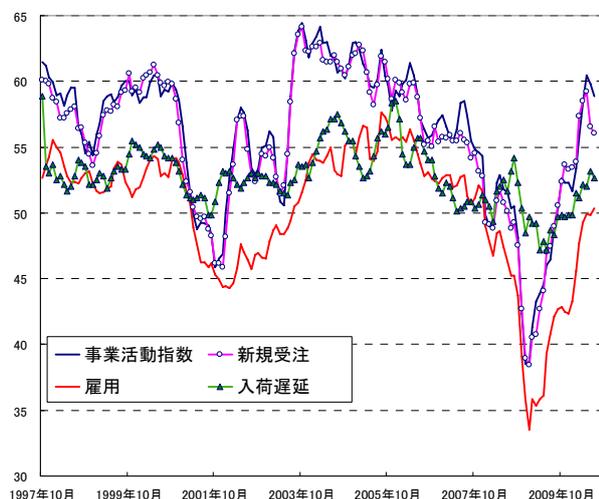
7月事業活動指数は5月に61.1と2006年4月(61.8)以来の高水準に上昇したのをピークに、6月58.1、7月57.4と連月で下落した。新規受注指数は3月(62.3)をピークに3ヵ月連続の低下、この間の下落幅は▲7.9ポイントに昇るが、7月は4ヵ月ぶりに上昇した。

また、雇用指数は、5月に50.4とリセッション入りした2007年12月(51.1)以来2年半振りに50台を回復、6月に49.7と低下後、7月は50.9と上昇した。雇用指数の上昇は、製造業でも同様であり、週末の雇用統計(市場予想は民間雇用の前月比9万人増)が注目される。

その他の指数では、6月▲5.5ポイントと低下が大きかった新規輸出受注指数が4.0ポイント(52.0)と上昇、半面、受注残指数が▲3.5ポイント(52.0)、在庫指数が▲3.0ポイント(55.5)と低下が大きかった。また、変動の大きい価格指数は、7月は▲1.1ポイント(52.7)と小幅な動きに留まった。

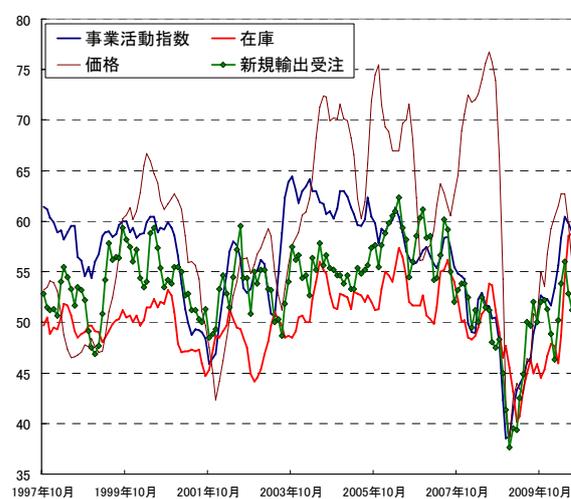
非製造業各指数では上昇した指数が3指数に留まり、下落した指数よりも少なかったが、雇用指数や新規受注といった主要指数の改善やNMIの上昇により、業況の改善が窺われる。なお、5月に4指数あった60台の指数は6月以降無くなり、半面、6月に3指数あった50以下の指数は、7月は輸入指数(48.0)だけとなっている。こうした傾向は、製造業でも同様で、ほとんどの指数が50台に集中している。景気の安定期に多く見られるため、ギリシャ危機の影響からの立ち直りが窺われる。

(図表3) I S M非製造業各指数の推移(その1)



注：3ヵ月移動平均

(図表4) I S M非製造業各指数の推移(その2)



注：3ヵ月移動平均

(図表5) I S M指数：製造業と非製造業各指数の一覧

製造業指数														
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	10年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	6→7月 変化幅
P M I	49.1	52.8	52.4	55.2	53.7	54.9	58.4	56.5	59.6	60.4	59.7	56.2	55.5	▲ 0.7
新規受注	55.5	63.0	59.9	58.3	61.5	64.8	65.9	59.5	61.5	65.7	65.7	58.5	53.5	▲ 5.0
生産	59.0	62.9	57.5	62.2	60.2	59.7	66.2	58.4	61.1	66.9	66.6	61.4	57.0	▲ 4.4
雇用	45.9	47.0	46.5	51.8	49.6	50.2	53.3	56.1	55.1	58.5	59.8	57.8	58.6	0.8
入荷遅延	51.7	56.0	56.8	56.3	55.7	56.8	60.1	61.1	64.9	61.3	61.0	57.3	58.3	1.0
在庫	33.3	35.0	41.2	47.3	41.4	43.0	46.5	47.3	55.3	49.4	45.6	45.8	50.2	4.4
顧客在庫	42.5	39.0	39.0	38.5	37.0	35.0	32.0	37.0	39.0	33.0	32.0	38.0	39.0	1.0
価格	55.0	65.0	63.5	65.0	55.0	61.5	70.0	67.0	75.0	78.0	77.5	57.0	57.5	0.5
受注残高	50.0	52.5	53.5	53.5	52.0	50.0	56.0	61.0	58.0	57.5	59.5	57.0	54.5	▲ 2.5
新規輸出受注	50.5	55.5	55.0	55.5	56.0	54.5	58.5	56.5	61.5	61.0	62.0	56.0	56.5	0.5
輸入	50.0	49.5	52.0	51.0	51.5	55.0	56.5	56.0	57.0	58.0	56.5	56.5	52.5	▲ 4.0
非製造業指数														
N M I	46.7	48.2	50.1	50.1	48.4	49.8	50.5	53.0	55.4	55.4	55.4	53.8	54.3	0.5
事業活動	47.0	50.9	53.2	54.0	49.6	53.2	52.2	54.8	60.0	60.3	61.1	58.1	57.4	▲ 0.7
新規受注	48.6	50.0	53.1	54.2	53.7	52.0	54.7	55.0	62.3	58.2	57.1	54.4	56.7	2.3
雇用	41.3	42.8	44.1	41.7	41.7	43.6	44.6	48.6	49.8	49.5	50.4	49.7	50.9	1.2
入荷遅延	50.0	49.0	50.0	50.5	48.5	50.5	50.5	53.5	49.5	53.5	53.0	53.0	52.0	▲ 1.0
在庫	47.0	43.0	47.5	43.0	45.5	51.5	46.5	45.0	46.5	54.5	62.5	58.5	55.5	▲ 3.0
価格	39.7	61.5	50.2	53.4	57.1	59.6	61.2	60.4	62.9	64.7	60.6	53.8	52.7	▲ 1.1
受注残高	42.0	41.0	51.5	53.5	48.5	48.0	45.5	46.0	55.5	49.5	56.0	55.5	52.0	▲ 3.5
新規輸出受注	47.5	54.0	48.5	53.5	54.5	46.0	46.0	47.0	57.5	57.0	53.5	48.0	52.0	4.0
輸入	45.0	49.0	51.5	46.0	46.0	52.5	47.0	48.5	51.0	56.5	56.5	48.0	48.0	0.0
在庫センチメント	62.5	67.5	62.0	63.5	61.5	61.0	64.5	60.0	52.5	53.5	60.5	59.0	59.0	0.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。